



## 基本理念：地域に親しまれ信頼される病院

- 基本方針
1. 患者さん中心の医療を提供します。
  2. 安心・安全な医療を提供します。
  3. 保健・福祉と連携した医療を提供します。
  4. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。



## 町立病院新任医師の紹介

4月から小鹿野中央病院に赴任された先生をご紹介します。

### 内科医長 田中健丈 先生

初めまして、平成29年度に町立小鹿野中央病院の内科医として勤務いたします田中健丈（たなかけんじょう）と申します。出身は埼玉の大宮です。

自治医科大学を卒業後、さいたま赤十字病院で二年間の研修生活を送りました。その中で、消化器内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、アレルギー膠原病内科、緩和ケア科、総合診療科、外科、整形外科、麻酔科等の科を回り勉強をして秩父・小鹿野での医療に備えてきました。

私の医師としての専門は消化器内科であり特に胃カメラや大腸カメラに興味を持っており、胃がんや大腸がんの早期発見に努めていきたいと考えております。

また、個人的価値観やライフスタイル等を尊重した保健、医療、福祉、介護を提供できるように、病院のスタッフと協力し、町民の皆様のために頑張っていきます。

実は以前、短期間ではありますが学生時代の実習として小鹿野中央病院で診察をさせていただいたことがありましたので、少し懐かしさもあります。

今後、皆様のお役に立てるよう頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。



## ～☆ 町立病院の取り組みを紹介します ☆～

町立病院では、病院の理念である「地域に親しまれ信頼される病院」を目指してさまざまな取り組みを行っております。

その中のひとつとして、「病院ボランティア」の活動があります。これは、患者さんの立場に立った医療を実現するために、町民の皆さんにご協力をいただいている活動です。

患者さんが気持ちよく受診や療養を行うことができ、病院で過ごす時間に安らぎを感じていただくことを目的として平成17年度から開始いたしました。

病院ボランティアのみなさんは、医療の専門職からは見えないさまざまな疑問や問題点が見える、また、限られた医療空間に日常生活の空気を運んでいただける存在として病院にとって欠かせない役割を担っていただいております。

ボランティア活動は、主に外来と療養病棟で行われています。

外来では、患者さんのご案内や待ち時間の長い方へのお声かけ、診察終了後のカルテの回収など、また療養病棟では入院中の患者さんへの車椅子による散歩の介助や話し相手などです。

責任者を中心にボランティア会議を開き、活動の調整や研修会の計画などの運営を行っています。

町立病院では、病院ボランティアとして継続的、また定期的にご協力いただける方を随時募集しておりますので、お気軽に地域医療連携室までお問い合わせください。



## ② ゆだねる力

桜も終わり、緑のまぶしい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、先月から書き始めた認知症の話、今日はあるご家族から言われた一言から考えてみましょう。

とても熱心に介護されている娘さんから、ある時こんなことを言われました。「母は、だんだん自分でできることが少なくなってきました。今ではほぼ全てのお世話をしないとイケない。赤ちゃんがえりみたいなもんですね。それにしても、長いなあ…」と。この“長い”という言葉にはいろいろな意味が込められています。

人は、まっ裸の状態できながら生まれてきます。何もできず、ただ泣くだけ。それでも新たな誕生に周りのみんなは幸せになりますよね。歌手のさだまさしさんは、「赤ちゃんはね、右手に勇気、左手に元気を握りしめて生まれてくる。それはね、使えば使うほど増えていくものなんだ」と言っていた気がします。世の中、使えば使うほど減っていくものがほとんど。そう思うと、赤ちゃんの力とさだまさしさんの表現力にちょっと納得です。



赤ちゃんはその後ちょっとずつ成長し、自分で食べることができるようになり、歩けるようになり、言葉を発し、この世の嬉しいことや悲しいこと、楽しいことやつらいことを少しずつ身にまもっていきます。その後の人生はさておき、さていよいよ人生の終末に近づいたときに、人はこれまで身にまとったものを一枚ずつ脱いでいくように、だんだん自分ではできないことが増えていきます。覚えていたことを忘れ（私はすでにその域に達している…）、歩く力はなくなり、時には自分で食べることも難しくなります。成長してきた時間よりも、もうちょっと時間をかけて少しずつずつ。

できなかったことができるようになる喜びは大きいものです。その逆に、できていたことができなくなる悲しみもまた大きい。でも、それを受け入れていくしかないんですよ。

そこで、こう考えてみたらどうでしょうか。今までいろいろな人をお世話してきた人は、これからはいろいろな人のお世話になればいい。できなくなったときに、相手に“ゆだねる力”も、これからは大切じゃないかなと思うのです。できなくなったら、逆に開きなおる。そして、できなくなってきたことを受け入れていくこと。それはある意味で「成長」であり「強さ」かもしれません。

皆さんにとっても私にとっても、今日は一番若い日です。今日も一日、できることはがんばろう（出来ないことはまかせよう）と自分自身に言い聞かせて。

最後に私の好きな詩で締めくくります。

あなたの年齢は年の数ではなく、友人の数で数えなさい。

あなたの人生は涙の数ではなく、笑顔の数で数えなさい。

総合診療科 医師 内田 望

## 外来からのお知らせ

### 休診

耳鼻咽喉科：5月 9日（火）荒木Dr.  
 眼科：5月 9日（火）竹内Dr.  
 耳鼻咽喉科：5月16日（火）荒木Dr.  
 整形外科：5月19日（金）関口Dr.  
 眼科：5月30日（火）竹内Dr.  
 総合診療科：5月31日（水）内田Dr.

### 変更

眼科：5月 6日（土）→5月13日（土）に日程変更  
 眼科：5月12日（金）播本Dr.→沖坂Dr.に変更  
 眼科：5月22日（月）沖坂Dr.受付時間が11時まで

※総合診療科、整形外科は複数の医師で担当しておりますので当日の勤務医が診察を行います。

☆年に一度は「人間ドック」を受けましょう☆

お問い合わせ：総合健診センター（病院内）

直通電話：72-7510



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話（代表）0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。